

令和7年度実施の事業について

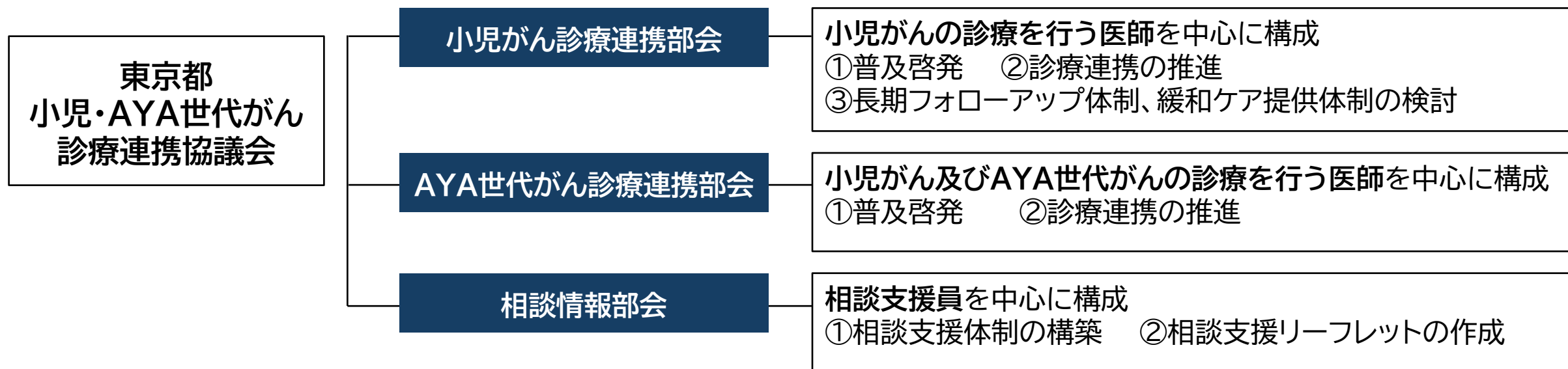
東京都小児・AYA世代がん診療連携推進事業

目的 小児・AYA世代がんに関して、高度な診療提供体制を有している都内の医療機関の専門性を生かした診療連携体制を確立することで、患者に対し、速やかに適切な医療等を提供する。

- 内容**
- ①東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会の運営
(事務局を東京都立小児総合医療センターに委託)
 - ②小児がん地域連携推進研修会の開催
(小児がん拠点病院、東京都小児がん診療病院から、5施設に委託)

東京都小児・AYA世代がん診療連携ネットワーク

- ・小児がん拠点病院 2施設
- ・東京都小児がん診療病院 13施設



東京都小児・AYA世代がん診療連携推進事業

東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会 令和7年度の主な取組

	議題、検討事項等	研修会、資材など
協議会	<ul style="list-style-type: none"> 各部会の活動報告(2回 / 10月、3月) 	—
小児がん診療連携部会	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の活動報告 今年度の事業計画 	<ul style="list-style-type: none"> 小児がん診断ハンドブックの改訂、公開 市民公開講座(11月) - 小児・AYA世代がん患者のメンタルケア 症例検討会(2月) 小児がん地域連携推進研修会(4回 / 8月、1月、3月)
長期フォローアップWG	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の活動報告 研修会の開催計画 	<ul style="list-style-type: none"> 長期フォローアップ研修会(3月) <ul style="list-style-type: none"> 腫瘍循環器のフォローアップ
緩和ケアWG	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の活動報告 研修会の開催計画 	<ul style="list-style-type: none"> 小児緩和ケア研修会(3月) <ul style="list-style-type: none"> 終末期をどう支えるか
看護WG	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の活動報告 研修会の開催計画(グループワーク) 	<ul style="list-style-type: none"> 小児がん看護研修会(1月) <ul style="list-style-type: none"> 皮膚ケア&曝露対策
AYA世代がん診療連携部会	<ul style="list-style-type: none"> AYA支援チームの取組みや課題 研修会の開催計画 	<ul style="list-style-type: none"> AYA世代支援チーム研修会(9月)
相談情報部会	<ul style="list-style-type: none"> 小児がん経験者と家族からの講演 リーフレット活用方法(グループワーク) 各施設の困難事例(グループワーク) 	<ul style="list-style-type: none"> 患者・家族向けリーフレットの改訂、公開(相談支援リーフレット)

東京都小児・AYA世代がん診療連携推進事業

東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会 令和7年度の主な取組 | 新規

第1回AYA世代支援チーム研修会

<テーマ・研修概要>

がん診療連携拠点病院にはAYA世代支援チームの設置が求められています。
AYA世代支援チームをどのように組織化するか、活動するかを学び、各施設での課題と目標を検討します。

<日時> 9月23日(祝・火曜日) 13時～16時 (12:45受付開始)

<会場> 国立がん研究センター中央病院 特別会議室

(最寄り駅：地下鉄大江戸線 築地中央市場)

<形式> 対面開催 (定員 先着50名)

<プログラム>

・開会あいさつ 13:00～13:05

・AYA世代がん患者支援 (総論) 13:05～13:50

「AYA世代支援の現状と課題」

国立がん研究センター中央病院 緩和医療科医長 石木 寛人

・小児・成人のモデル紹介 13:50～14:30

1. 「患者に届く支援チームを目指して」

聖路加国際病院 相談支援センター看護師 橋本 久美子

2. 「AYA支援チームの活動」

東京都立小児総合医療センター 緩和ケア認定看護師 土屋 周平

・休憩 14:30～14:40

・グループワーク 14:40～15:40

1. 各施設の現状と課題

2. 今後1年で取り組む課題と目標設定

・全体共有 15:40～15:55

・開会あいさつ 15:55～16:00

URL:<https://forms.office.com/r/zwg1z4NscB>

入場無料

(要事前申込)

定員 先着50名

申込フォーム QRコード・URL



目的 拠点病院等におけるAYA支援チームの設置促進と機能向上を図るため、先行施設の取組モデルを参考に、参加施設の現状と取り組むべき課題を整理

参加者 AYA支援チームに所属、または立ち上げ準備に携わる、都内がん拠点病院等の医療従事者(各施設から2～3名で申込み)

↓
11施設から23名参加

共催 東京都がん診療連携協議会

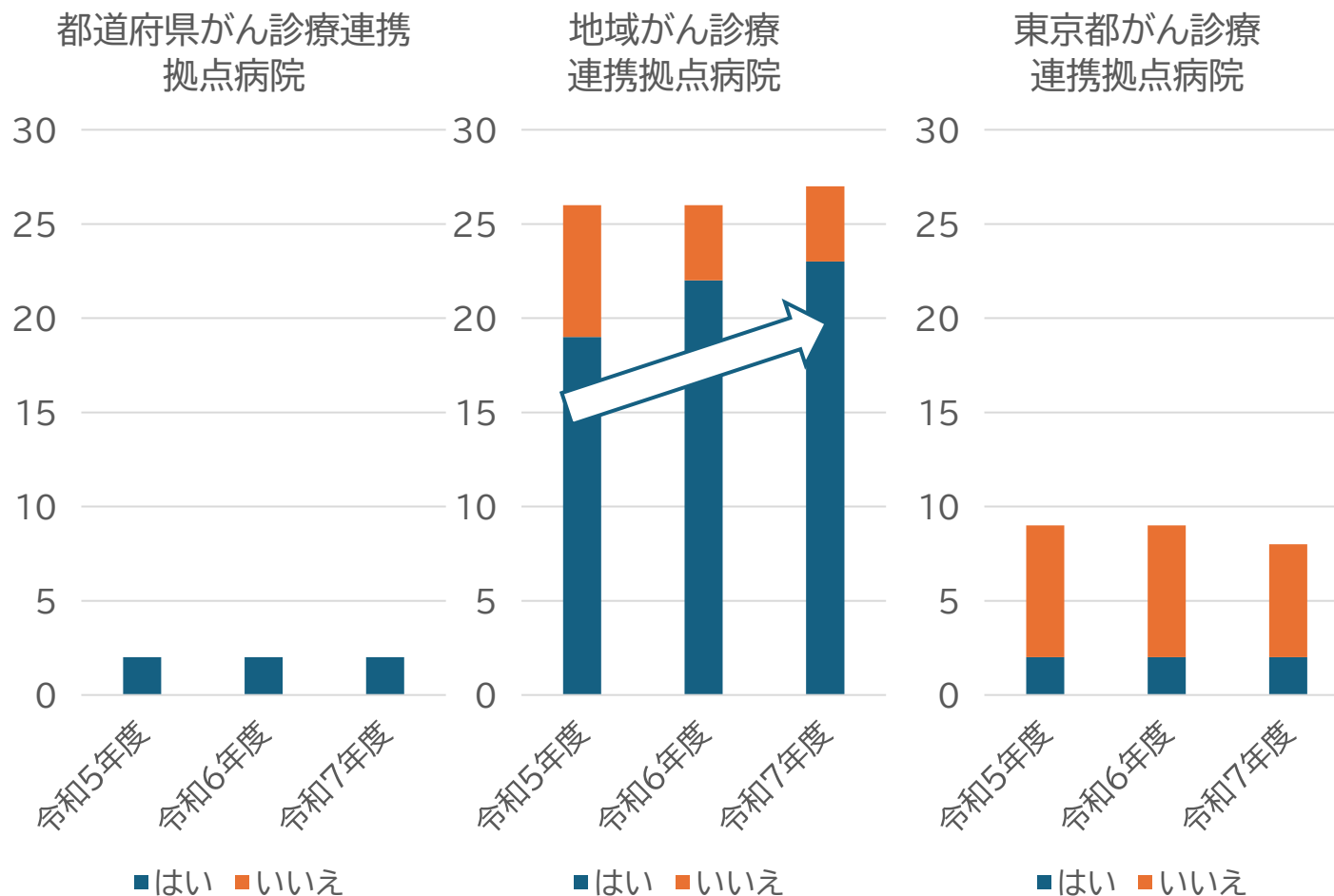
AYA支援チームの現状や課題、活動内容が共有され、来年度も継続予定

拠点病院等の指定要件 「多職種からなるAYA世代支援チームを設置している。」

令和7年度の充足状況

指定種別	施設数	はい	いいえ
都道府県がん診療連携拠点病院	2	2	0
地域がん診療連携拠点病院	27	23	4
東京都がん診療連携拠点病院	8	2	6
合計	37	27	10

指定種別毎の推移



東京都小児・AYA世代がん診療連携推進事業

東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会 令和7年度の主な取組 | 資料の改訂

小児がん診断ハンドブック 改訂第三版

患者、家族向けリーフレット 改訂(5種類)



「小児がんの長期フォローアップを行う体制」に関する調査

東京都がん診療連携協議会 評価・改善部会 QIワーキンググループ

1. 成人した小児がん経験者の診療及び成人移行に関するアンケート調査（5月）

2. 成人した小児がん経験者の診療及び成人移行に関するアンケート調査結果に伴う追加調査
（8月～12月）

- 目的
小児がん経験者が成人後に医療を受ける際の受け入れ医療機関における対応状況や課題工夫について明らかにする
- 調査方法
受け入れ先が「成人診療科」である場合と、
「小児科(他院からの紹介で成人後も診療を継続しているケース)」である場合に分けてインタビュー

AYA世代等がん患者支援事業

目的 様々なニーズをもつAYA世代のがん患者に対し、それぞれの状況に沿った医療提供体制を構築する。

- 内容 ①AYA世代がん患者相談支援事業
(AYA世代がん相談情報センターを東京都立小児総合医療センター、聖路加国際病院に設置)
- ②小児・AYA世代がんワーキンググループの開催

AYA世代がん相談情報センター 令和7年度の主な取組

相談員の 連携機会	Tokyo AYA Canネットワーク(2回)	
	「小児・AYA 世代がん患者の 長期フォローアップとトランジション」	「東京都におけるAYA支援チームの現状と 展望」
患者等の 交流機会	AYAキャンサーサバイバーズ ミーティング(オンライン交流イベント)	AYAがん啓発イベント 「AYAがんを知ろう」

相談支援に関する情報収集

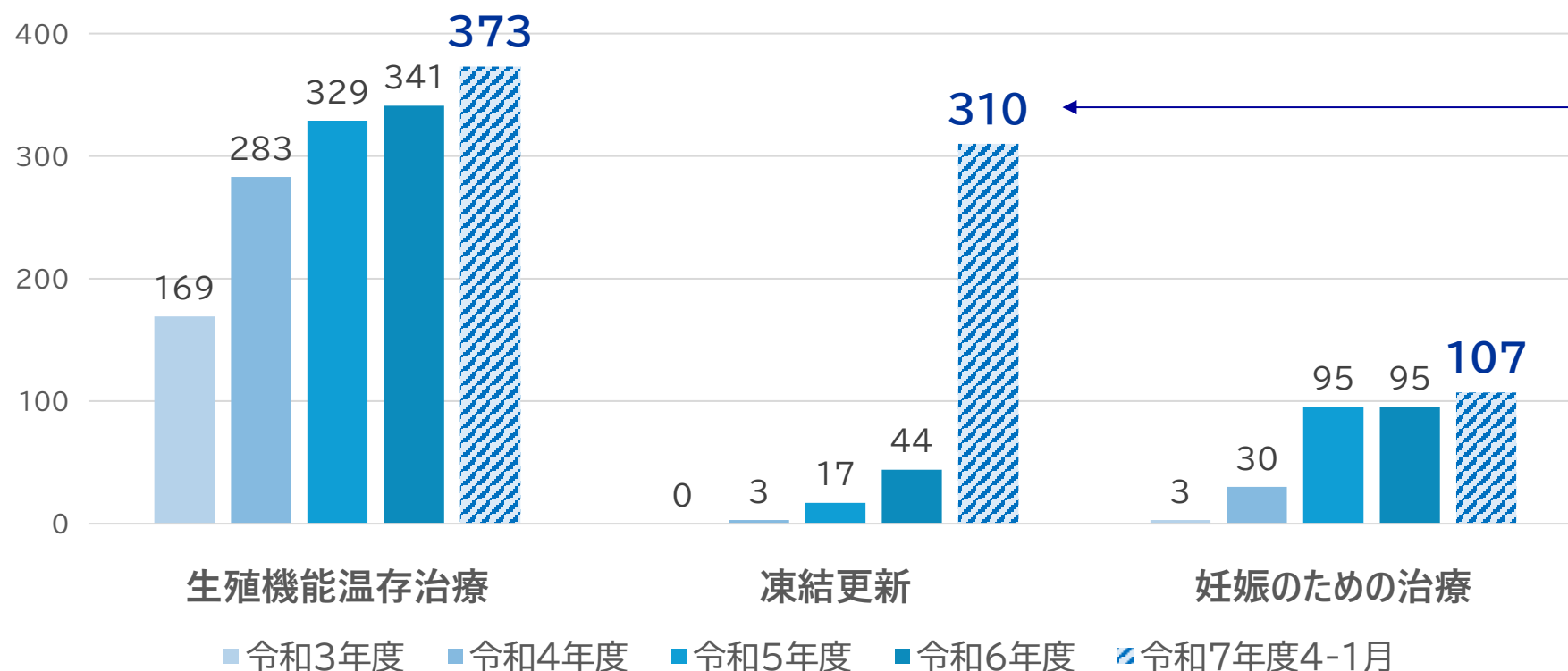
拠点病院等への情報提供

若年がん患者等生殖機能温存治療費助成事業

目的 がん治療により生殖機能が低下する又は失うおそれがある若年がん患者に対して、将来の妊娠に備え、希望を持ってがん治療に取り組めるよう支援する。

- 内容 ①若年がん患者等生殖機能温存治療費助成事業
②東京都がん・生殖医療連携ネットワーク（事務局を聖路加国際病院に委託）

助成実績推移(件数)



凍結更新
患者等の負担軽減のため、
毎年度申請可能に
(令和7年1月～)

若年がん患者等生殖機能温存治療費助成事業

東京都がん・生殖医療連携ネットワーク

目的 妊孕性温存等を希望する患者が円滑に治療を受けられる体制の構築

- ・ がん診療施設と妊孕性温存療法実施医療機関等における医療連携や情報連携の推進
 ・ 患者に対する情報提供並びに意思決定支援体制の整備と質の向上

- 内容 ①ネットワークの運営
 ②研修会、セミナー等の開催

参画医療機関

- ・ 指定医療機関（生殖医療） 27施設
- ・ 原疾患治療施設（がん診療） 64施設

東京都がん・生殖医療連携ネットワーク 令和7年度の主な取組

	議題、検討事項等	研修会など
総会	・ 昨年度の活動報告	・ 助成事業の状況
幹事会	・ 研修会等の開催計画	・ 委員会の審議事項
各企画委員会	・ 研修会等の企画	・ 人材育成WEBセミナー(7月)
		・ 人材育成研修会(1月)
		・ がん・生殖医療連携セミナー(1月)
		・ 市民公開講座(1月)
		・ がん治療と妊娠に関する個別相談会(1月)

若年がん患者在宅療養支援事業

目的 若年がん患者の在宅療養の充実を図るため、介護保険制度の対象とならない40歳未満のがん患者に対し、在宅サービス等の費用を助成する区市町村の取組を支援

対象者 次の全ての要件を満たしていること

○40歳未満のがん患者

○介護保険制度において、がんを原因として認定を受ける場合と同等の状態と医師が判断した場合で、在宅生活の支援や介護が必要な方

○他の制度や事業において、同等の助成または給付を受けることができない方

補助内容

区分	サービス等の種類	基準額	補助率
①主治医意見書の作成	本事業の利用申請に要するものに限る	5,000円	区市町村 負担額の 1/2
②ケアプランの作成	サービス利用計画書の作成等を行った場合にかかる費用	15,000円/月 (初月のみ25,000円)	
③居宅サービスの利用	訪問介護、訪問看護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーション 等	③と④の合算で 54,000円/月	
④福祉用具の貸与	手すり、スロープ、歩行器、歩行補助つえ、車いす、特殊寝台 等		
⑤福祉用具の購入	腰掛便座、簡易浴槽、入浴補助用具 等	90,000円/年	

【実施自治体】 13区市

令和3年度 江戸川区
 令和4年度 世田谷区
 令和5年度 千代田区
 調布市
 令和6年度 江東区、足立区
 葛飾区
 令和7年度 新宿区、文京区
 台東区、墨田区
 渋谷区、北区

※20歳未満の小児慢性特定疾病医療費の支給を受けている場合は、当該事業での対象は①、②、③となる。

アピランスケア支援事業

目的 がんなどの疾病やその治療等に伴う外見の変化に悩みを抱えている患者等に対し、罹患する前と変わらず地域社会で自分らしく生活できるよう、区市町村がウィッグやエピテーゼなどの購入等にかかる費用を助成する場合にその取組を支援する。

補助内容

対象疾病	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者 ・がん以外の疾病等 - 疾病及び治療の影響によるもの - 外傷によるもの ※手術により頭髪を剃る場合は除く 	令和7年度 より 拡大
対象品目	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグ(装着用ネット、クリップ含む) ・帽子(毛付き帽子、医療用帽子等) ・エピテーゼ(補整用人工物。人工乳房、義眼等) ・補整下着(補整パッド含む) ・弾性着衣 ・頭皮冷却用キャップ及び冷却用グローブ・ソックス ・その他、区市町村長が認めたもの(施術費等除く) 	拡充
補助基準額	1回当たり100千円	
補助回数	1人当たり2回まで	
補助対象数	1回当たりの個数制限なし	見直し
補助率	区市町村負担額の1/2	

実績

	令和5年度	令和6年度
医療用ウィッグ	2,990件	6,202件
補正下着	361件	772件
人工乳房	61件	129件
その他	40件	136件
合計	3,452件	7,239件

【実施自治体】

令和5年度 27区市町
 令和6年度 42区市町
 令和7年度 46区市町村
 (予定)